

別紙

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

マナック株式会社 福山工場

(2) 事業所の所在地

広島県福山市箕沖町92番地

(3) 業種

1699 他に分類されない化学工業製品製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成21(2009)年度を基準年度とし、平成23(2011)年度から平成25(2013)年度までの3年間とする。

※ 省エネ法第15条関係中長期計画書の計画期間と同じ。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量 (a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
			平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	
エネルギー 起源CO ₂							
非エネルギー 起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
温室効果ガス 実排出量総計							
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価							

※ 削減率 (c) = (b) - (a) / (a) × 100 削減量の対基準年度比 (e) = (a) - (d) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： 年度生産量 (エネルギー負荷補正：千 t)

温室効果ガスの種類	基準年度の 実績 (a)	目標年度 上段：目標 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
			平成21年度	平成25年度	平成22年度	平成23年度	
エネルギー 起源CO ₂	963.3	934.4	919.3	985.2			
非エネルギー 起源CO ₂	0.8335	0.6061	0.5412	0.7152			
メタン	0.7293	0.8658	0.7216	0.3065			
一酸化二窒素	0.5209	0.5195	0.5412	0.2044			
フロン類							
温室効果ガス 総排出量	965.4	936.4	921.1	986.4			
エネルギー消費 原単位 (原油換 算kl)	402.5	390.7	395.1	391.7			
原単位量 (千 t)	9.598	11.55	11.087	9.787			
実績に対する 自己評価	省エネ改善と節電により生産減でもエネルギー原単位が下がっているにも関わらず、電力の換算係数 (中国電力) 上昇のため換算CO ₂ は逆に上昇している。						

※ 削減率 (c) = (b) - (a) / (a) × 100 削減量の対基準年度比 (e) = (a) - (d) / (a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み (=省エネ)

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	燃料起因CO ₂ 発生の削減	・燃料の使用によるCO ₂ 発生原単位を3%以上改善	・蒸気配管の整備 ・トラップの整備、改善 ・保温断熱強化
2	電気使用によるCO ₂ 発生の削減	・電気の使用によるCO ₂ 発生原単位を3%以上改善	・高効率変圧器への更新 ・LED照明器具への転換(新設部分) ・省エネ型電気機器への更新(空調機、冷凍機等) ・圧力空気ロスの防止 ・冷暖房温度の適正管理 ・不要電源OFFの徹底
3			
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み (環境価値の活用等)

	種類	合計量
1	(該当なし)	
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	廃棄物発生量の削減	発生計画量の3%削減(各年度)	・溶剤のリサイクル、リユース ・使用水量低減(工程改善) ・両面コピー、電子文書 ・分別、資源化の徹底
2	大気排出の抑制	回収率95%以上	・工程密閉化の推進 ・温度管理の徹底 ・冷却能力の向上
3	その他		・工場周辺の清掃活動(月2回) ・工場緑化の推進 ・クールビズ、ウォームビズの推進 ・低公害車両の導入

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。